令和6年度(5年度実績)総合評価書 <施設名 笠原中央公民館>

1. 指定管理者名 公益財団法人多治見市文化振興事業団 2. 指定期間 令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日

(1) 笠原中央公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 笠原中央公民館の利用許可に関すること。 (3) 利用料金の徴収に関すること。 (4) 公民館事業の実施に関すること。

採点表 評価項目		細目 i	配点 採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
	(1)利用状況(0点)	①施設の利用率(利用時間/ 日数×営業時間)	平均値比 - 105%以上:5点、105%未満~95%:4点 95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	-	令和5年度は大規模改修により休館。	_
		②利用人数	平均値比 - 105%以上:5点、105%未満~95%:4点 95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	_	令和5年度は大規模改修により休館。	_
運営·利用状 況 (40点)	2)市の事業の企画・遠 点)	軍営・実施状況(仕様書内)(20	内容・事業数等が 仕様書以上:20~16点 仕様書に忠実:15~12点 仕様書の一部不実施(軽微):11~9点 仕様書の一部不実施(中程度):8~4点 それ以下:3~0点	年次報告書P360~366 ①かさはら探検隊/田植え、半日修行、ミニ運動会、芸術鑑賞ほか(8回159人) ②高齢者講座/名歌を歌おう講座、公開講座&ミニコンサート(13回287人) ③生涯学習講座/(1)カラダ整うエクササイズ(2回14人)、(2)子ども講座お写経(11人)、 読んでつくってみてみて私のワンピース(10人)、お正月フラワーアレンジ(10人) ④次世代育成事業/かさはら和太鼓クラブISAMI(27回342人) ⑤地域交流事業/(1)各区対抗ソフトバレーボール大会(100人)、(2)いこまい祭(1,000人)、(3)スポレクかさはら(300人)、(4)クリーン大作戦(50人) ⑥地域支援/笠原産業フェスタ、チャレラン&お正月フェスティバル(150人)	仕様書以上 : 13点	①休館中のため「かさはら探検隊」は、寺や田んぼなど地域の協力を得ながら展開。セラミックパークMINO、地球村など例年とは異なる体験の機会提供に努めた。 ②休館を理由に、公民館で行われていた生活の一部ともいえる活動を絶やさないことが、公民館の使命にもなり、「名歌を歌おう」は場所をパロー文化ホールに移して継続。難しい曲に挑戦する講座や、文化祭の代わりとしてミニコンサートを実施するなど、受講生のモチベーションの維持・向上を図る運営に努めた。 ③同様に、「読んでつくって~」は地球村を会場とし、図書館笠原分館は読み聞かせと工作、地球村は施設案内を行うなどの連携を図った。LINEを活用し、フィールドワークの様子を共有する新しい試みで、参加者同士での発見や刺激を促した。また和太鼓クラブは、練習会場の移転にあたり、職員が近隣住民へ直接お願いに回り活動を継続に繋げた。 ④かさはらいこまい祭やスポレクかさはら、またタイル広場を活用した地域主体の事業への支援にも取り組み、地域の活性化に寄与。	13点
((3)自主事業の企画・近	軍営・実施(20点)	内容・事業数等が 仕様書以上:20~16点 仕様書に忠実:15~12点 仕様書の一部不実施(軽微):11~9点 仕様書の一部不実施(中程度):8~4点 それ以下:3~0点	年次報告書P.367~375 ①生涯学習講座/陶芸(2回8人)、こども夏講座(4回29人)、写経(9人) ②次世代育成事業/ISAMIふらっとコンサート(250人)、親子陶芸講座(2回32人) ③子ども手芸教室ぷっち/出張講座(10人)、陶芸工房にて(2回17人) ④地域発見事業/笠原鉄道資料展示(まなびパーク)、廃線跡ウォーク笠原鉄道協力 ⑤地域交流事業/モザイクマート(600人)、いこまい祭盆踊り練習会(2回350人)、お正月フェスティバル(75人) ⑥地域事業支援/タイル感謝祭支援(1,200人) ⑦市民活動支援事業/NPOまいて支援、笠原バスウォーキング支援、笠原カレンダー製作 ⑧学習支援事業・高齢者事業/かさはらカレッジ悠遊塾(21回414人) ⑨4館合同ふれあい囲碁・将棋大会(2回73人)、市立公民館・交流センター合同事業卓球交流会(44人)	仕様書以上 : 13点	①陶芸工房を活かした陶芸講座を開催。地場産業に関心を持つきっかけにつなげただけでなく、鋳込みは陶芸経験者の興味も引く講座となった。また、勾玉づくりでは中学生が小学生を指導。異年齢の交流を生み、相互の成長につながるよう取り組んだ。 ②和太鼓クラブISAMIへ、バロー文化ホールのふらっとコンサート出演する機会を提供。貴重な発表の場を設けて休館中の活動を支援。 ③図書館郷土資料室と連携し「廃線45年 笠原鉄道の轍」展を開催。笠原地域の歴史に残る笠原鉄道の記憶をたどり、郷土への愛着を深める機会を提供。 ④地域が主体となって取り組む「悠遊塾」のプログラムの運営を支援。高齢者の居場所づくりや課題解決、異世代交流などに取り組んだ。	13点
		①清掃		年次報告書P376 ①工事箇所以外の日常の清掃業務のほか事業計画にある各種業務を遅滞なく実施。	適正(普通)2点	適正に実施されている。	
		②保守・点検	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価す	年次報告書P377 ①笠原体育館を含め、多岐にわたる保守点検項目を適正に実施。 ②設備スタッフと綿密に連携を取りながら、改修工事中であっても必要な保守点検業 務を確実に実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		③保安•警備	る 適正(普通):2点 10 一部不備あり:1点	年次報告書P378 ①警備は体育館を中心に継続して実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
		④小規模修繕	不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	Par III NORGE, IIII (BIBLENI) BIBLE	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		年次報告書P379 ①工事期間中の来館者の導線に関して、工事業者と連絡を密にして安全管理を徹底。 ②工事休館を知らない人に対して目を配り、声掛けを徹底。 ③日々変化する工事に対して常に危険個所や人の動線を予測し、事前の予防や呼びかけに努めた。	適正(普通)2点	適正に実施されている。	

	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理		年次報告書P379 ①市のファイリングシステムに準じて、適切な保管・廃棄・整理を実施。 ②個人情報を収集は必要最低限の内容に留めるよう留意。		適正に実施されている。		
施設管理状 2 況 (25点)		②環境への配慮		期付以上:3点 15	年次報告書P379 ①休館中のため、電気や水の利用に制限があり、浪費しないよう心掛けた。 ②地域のNPOの資源回収に協力し、資源の有効活用を図っている。 ③月1回、商工会やモザイクタイルミュージアムとも協力し、施設周辺の清掃活動。 ④花壇などで雨水を利用する取組み。 ⑤不要な備品を市内の学校や公共施設に譲渡して、廃棄を削減。	適正(普通)2点	適正に実施されている。	10点
		③バリアフリー	15		年次報告P379 ①工事中でも車いすの利用者が体育館へ移動できるように動線を確保。行き帰りに職員が付き添い安全確保に努めた。 ②近隣の視覚障がい者の方に工事について説明。積極的に声を掛け安全な場所や点字ブロックのある歩道まで案内するなど危険回避に努めた。 ③点字ブロックが見失われないよう、浮きの補修や降雪時に優先して融雪するなどに努めた。	適正(普通)2点	適正に実施されている。	
		④備品管理		②5項目の合計点とする。	年次報告書P379 ①休館に伴い、館内にある備品を精査。不要品の廃棄とともに、利用できる備品は市内の学校や公共施設に譲渡。 ②経年した延長コードなどの貸出備品を故障前に見直した。 ③貸出も多いテントの傷んだ箇所を部品交換し、延命を図った。	適正(普通)2点	適正に実施されている。	
		⑤個人情報保護			年次報告書P379 ①不要となった電話番号はすぐにシュレッダーにかけるよう徹底。 ②地域の方や定期利用団体の代表者などの個人情報に関する問い合わせには、本 人の了解を得てから伝えることを徹底。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び 事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不 備あり:△1点)	年次報告書P380 事故なし。	事故なし・対応に 不備なし 0点	事故なし	0点
当該施設の経 (5点)	営状況	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、 105%未満~100%:4点、100%未満:3点	収入106,425,227円÷支出104,433,566円=102% (図書館笠原分館、笠原体育館含む)	105%未満~ 100% 4点	【参考】 ①施設単独の指定管理料 43,951千円 ②施設単独の主な収支 (1)収入/利用料金収入2千円、文化事業収入1,008千円、雑収入3,041千円 (2)支出/運営管理費23,083千円、文化振興事業費2,050千円	4点
より良い施設運営のための		①ニーズの把握·事業への 反映	10	期待以上:10~8点 適正(普通):7~5点 不備あり:4~1点	年次報告書P381 ①改修工事の進捗を知りたいという声に応えてSNSで工事の状況を発信。情報提供に取り組んだ。 ②休館中でも地域のイベントを継続したいという要望に応え、工事関係者と調整を図りながら積極的に支援。継続・定着化に向けて取り組んだ。 ③図書館利用の来館者には、職員が図書館に動くなど、待ち時間の負担軽減に努めた。 ④駐車場でスズメバチが目撃されたため、利用者への危険告知と草刈りにより安全確保に努めた。 ⑤工事で印刷機が使えない場合は、利用頻度の高い利用者に予め周知。 ⑥樹木の枝払いや草取りを実施。美観と利用者の安全な来館につなげた。		①改修工事に対して、施設に愛着のある地域住民の関心は高い。工事の進捗状況を情報 提供し、地域に理解をいただくための取組みに努めた。 ②地域の拠点施設の休館が、地域の活性化に影響を及ぼしてはならないという考えの下、 施設前の広場で行われるイベントには工事業者の理解を得て開催の支援に努めた。	9点
取組 (30点)		②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3~1 点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以 上 5点	苦情なし。	5点
4		事業実施のための提案・姿 こ反映されないその他の成果	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15~12点 適正(普通):11~9点 普通未満~物足りない:8~0点	年次報告書P382~384 ①東鉄ウォーキング事業やいこまい祭りでの建築工業会による重機を活用したブース運営など、企業と協力的に取り組んだ。 ②図書館がサービスの一部を継続するにあたり、工事状況を把握し、図書館利用者が安全に用事を済ませられるよう取り組んだ。 ③豪雨の際に子どもの一時避難所として待機・引き取りを行った。 ④工事期間中の和太鼓の仮の練習場所として、周辺住民の理解を得ながら下水処理場集会所を借り活動の継続を支援。 ⑤工事関係者との定例会議に参加。進捗状況や地域行事の情報共有、安全確保の依頼、その他の気づきや提案を伝えるなど施設管理者として役割を務めた。 ⑥新年度に向けて市が設置した駐輪場のパリケードに、反射テーブや看板をつけるなど、主体的な安全対策に取り組んだ。 ⑦市主催オープニング記念事業を受託し、リニューアルオープンの準備に取り組んだ。		①様々な機会を活用して積極的に企業との協力を図りながら事業の拡がりにつなげている。 ②工事関係者からの情報収集やそれに応じた動線の工夫に取り組み、来館者の安全確保に取り組んだ。 ③太鼓の音が周囲に影響しない場所の確保に苦慮しながら、太鼓の活動の継続に努めた。周知文書を臨宅で配付し依頼に回るなど、近隣住民の理解と協力を得ながら運営を支援。 ④交流センターとしてのリニューアルに備え、他の交流センターへの職員の派遣や県主催の子育て支援員研修など各種セミナーに参加。次年度の施設運営についての理解を深め、人材育成に取り組んだ。 ⑤工事前まで利用していた団体への案内や令和6年度の養正公民館の工事に伴う定期利用団体への対応など交流センターに向けた様々な準備に取り組んだ。	14点
5 その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況			提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下): △3	不備なし	遅れ・不備なし減点なし	不備なし	0点
	(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以 外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応 等が期待どおり 減点なし	指示等なし	0点
				F. P.			90点満点	合計78点
슴計			100	【4段階評価】 100点満点 → 90点満点 極めて良好 100~85点 90~75点 良好 84~65点 74~56点 努力が必要 64~45点 55~37点 取消し等を検討 44点以下 36点以下			全体的な評価 ①工事休館中であったが、地域の拠点施設として様々な事業に創意工夫を持って取組み、 求められていた役割を遂行できた。 ②工事に伴う全館休館で事務所を継続することへの様々な配慮が必要な中、来館者の安全、職員の安全が守られ、円滑な交流センターへの移行ができた。	極めて良好